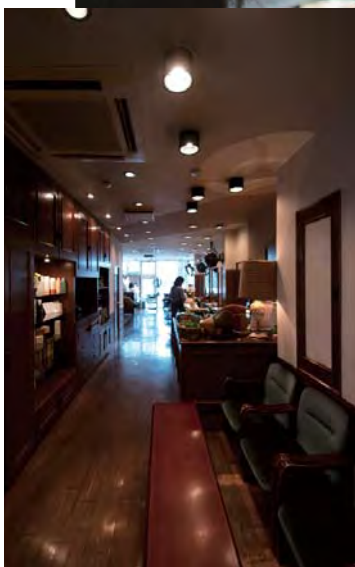




街を見続けてながら、同じ場所で31年。

スクウェア YOU



30歳でお店を開いてから、ずっと街を見続けてきた美容室、スクウェアユー。「言われてみたら、もうそんなになるんだね。そういうのって、案外気が付かないもんだよ。」
31年経った今でも、向き合うのは常にお客様なのかもしれません。



職人の趣き。

柔らかい物腰と、確かな技術。そして、独特の雰囲気をもった「現代の職人」というべき人達が、ここ十三日町にはいます。普段表には見せない、その方たちの想いを聞いてみました。

田舎だからこそ、
おしゃれじゃないと。



モリタ十三日町バッグラボ店 (バッグコレクションモリタ八戸十三日町店内)

十三日町で約 50年、
バッグ専門店として営
業しているファッショ
ンバッグモリタ。その
店内の一角にBAG
LAB.(バッグラボ)があ
ります。
もともとは、買って
いただいたバッグの修
理をするところから始
まったそうですが、現
在ではバッグだけでは
なく、革製品であれば
どんなものでも修理・
染め直しをしてくれる
そうです。
「インターネットでも
こういうサービスが

沢山あるが、対面販売
だからこそ感じ取れる
何かがあるんですよ。」
使い続けた愛着のあ
る革製品の、質感を残
すためのアイデアや
提案ができるのは、革
の専門知識だけではな
く、物を大切にすると
や年月を重ねた「いい
もの」を残したいとい
う想いがあるからこそ
だといいます。

「本当にお洒落を楽
しむ文化は、都会とか
田舎とか関係ないんで
すよね。その証拠に、
ちよつと前までは



お話し中見せていただいた革のジャケット。
風合いはもちろん、傷も殆ど目立たない。
それでいて、どこかビンテージの味わいがある。

ファッションの中心は
原宿・渋谷だったけど、
今は浅草だったり秋葉
原のガード下とか、こ
れまで思いもしないと
こだったりするで
しょ？そう考えると
きつとね、田舎の方が
面白いと思うんです
よ。八戸にはいっぱい
面白い人・世界的に有
名な人だっているし。
だから、もつともつと
お洒落に発信してい
かないと。」
その一言がお店の中
にも溢れているのが感
じられます。

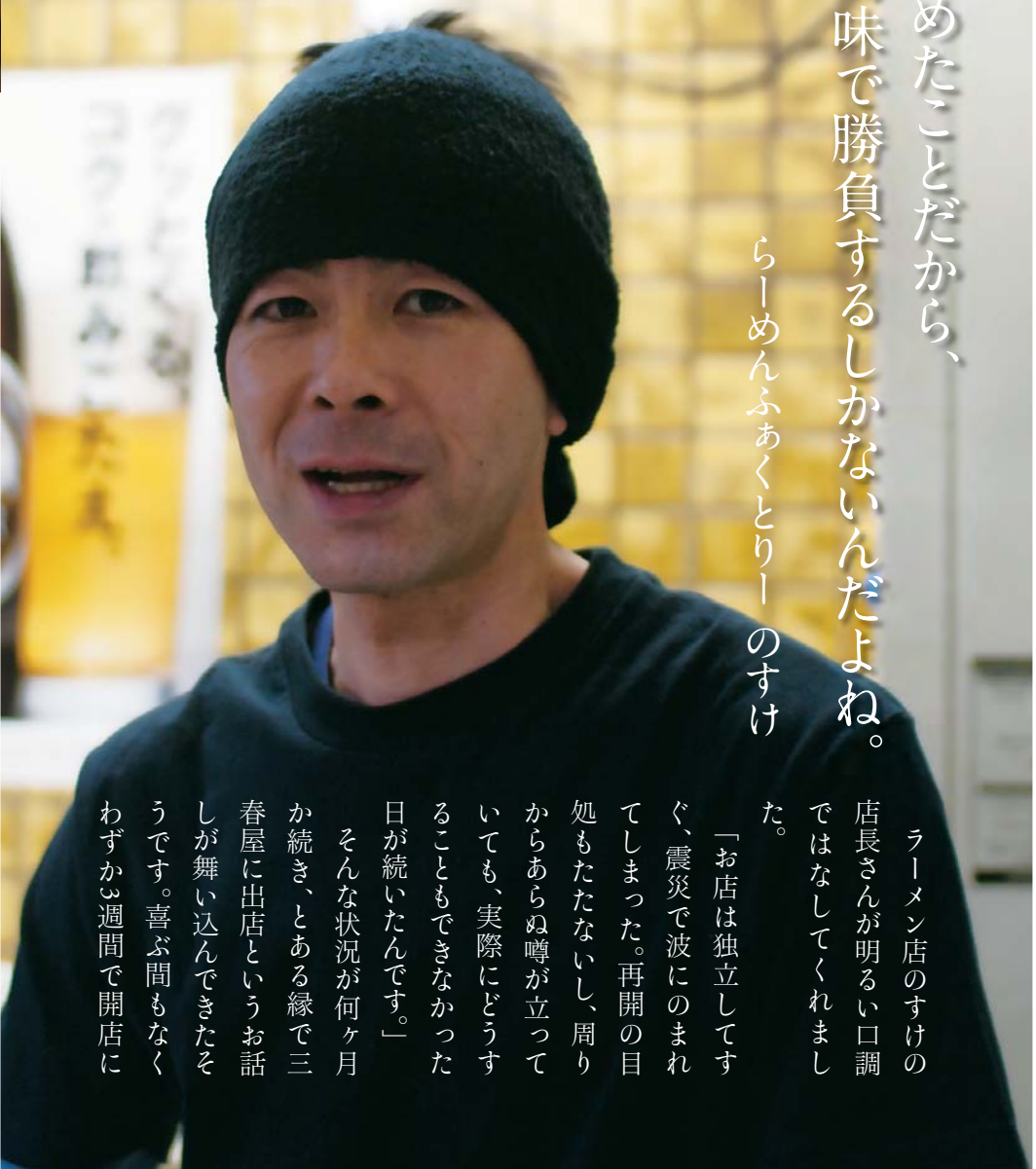
自分で決めたことだから、
結局味で勝負するしかないんだよね。

らーめんふあくとりーのすけ

ラーメン店のすけの
店長さんが明るい口調
ではなしてくれまし
た。

「お店は独立してす
ぐ、震災で波にのまれ
てしまった。再開の目
処もたたないし、周り
からあらぬ噂が立って
いても、実際にどうす
ることもできなかった
日が続いたんです。」

そんな状況が何ヶ月
か続き、とある縁で三
春屋に出店というお話
しが舞い込んできたそ
うです。喜ぶ間もなく
わずかに週間で開店に



こぎつけたものの、今
までと違った環境・客
層の中で、葛藤や新た
な悩みでき、思った通
りに仕事ができなかつ
と言います。「お客さん
の動向とか、色々アド
バイスをいただいたん
ですよ。最初はそれに
合わせて色々試行錯誤
してみたんですが、
ずっと違和感を感じて
いて、悶々とした日が
続いたんです。で、最終
的に分かったのは、ど
こに居ても最後は自分
の味で勝負するしか
ないんだと。」

実際にいらっしやる
お客様も、若い年代か
ら買い物帰りの年配の
方まで幅広く、中には
以前のお店の方連さん
が見つけてきてくださ
ったことも。

「本当に嬉しくて。そ
の時、やっぱり自分の

ラーメンを作り続けて
良かったって思いまし
た。」

出されたラーメンを
見ると、とにかくうま
い物で腹一杯になって
よ、という店主の気持
ちとあったかさが伝
わってきました。

